

樞密顧問官 清水 澄
 樞密顧問官 藤澤幾之輔
 樞密顧問官 南 弘
 樞密顧問官 田中 隆三

樞密院議長男爵平沼騏一郎殿

大正十二年四月十七日立案

書記官長 

主筆 書記官

書記官 



高工省官制中改正ノ件審査報告

(別紙、通り)

△
而シテ現下産業

業界ノ脅情ニ
鑑シ同業者間ノ

過當ナル競争ヲ

抑制シ企業ノ安

定ヲ策スルト共ニ

事業ヲ獨占ニ因リ

ヲ生ズヘキ弊害ヲ是

正シ國民生活ノ安定

ヲ期スルノ爲ニ日ヲ以

テスル産業統制ハ

將來ノ産業政策

ノ基礎

トシテ念及ス其

ノ重要性質ヲ増加セ

モニシテ

ヲ以テスル重要産業

ノ統制ニ關スル諸施

設ヲ推詳トシ之ニ際

スルニ大體重要ノ振興

ノ爲メニ

商工省官制中改正ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ商工省官制中改正ノ件ヲ審査スルニ本

件ハ昭和五年六月 商工部内臨時産業合理化局ヲ設ケ商工大臣

（省ノ外局トシテ）

（ムルコトトシ一圖未其ノ施設等々トシテ進一業績大ニ見ルベキモノナリ）

ノ所管ニ屬スル産業合理化ニ關スル事務ヲ掌ラシメタルガ近

時右種企業ニ於ケル合理化運動ハ漸次其ノ效ヲ見ルニ至リ産

業界現下ノ事情ハ寧ロ重要産業統制法、重要肥料業統

封 密 防

區 密 完

令現代之閣は諸法

後を以て之を為す

重要産業ノ統制

ニ関スル法律、重要

肥料業統制法及

南工組合中央金庫

法ノ運用其ノ他各般

ノ適切ナル措置ヲ為

シ類ヲ以テ総合的

産業統制ノ進行ニ

遺憾ナキヲ期スルニ

要リ、此ノ必要ニ應

ジテ、主として當該

事務ヲ擔當スルニ

相付、恒久ノ機關

スルニ當リ、且、事

務ノ性質上、其ノ部

分ノ省、外局等ヲ

要スルニ由リ、茲、本

件ノ都合ヲ以テ、前記

臨時産業合理化

及商工省内ノ局

ヲ商工省内ノ局

ニ設ケ、

並ニ臨時産業

合理化

及商工省内ノ局

ヲ商工省内ノ局

ニ設ケ、

秘 密

又變改セントスルニシテ、即今本件ノ勅令ニ依リ臨時産業合理化官制ヲ廢止スル（附則）ト共ニ、

制法等ノ運用ニ依リ同業者間ニ生ズル過當ノ競争ヲ抑制

スルニ共ニ企業獨占等ノ結果ニ基テ諸弊ヲ是正スルコトヲ

必要トシテ而テ今後益々其ノ重要性ヲ加フルニ至ルモノト認メテ

此レニ由リ今般商工省官制ニ一部ノ改正ヲ加ヘ、(一)重要ナル

産業ノ統制及産業合理化ニ關スル事務ヲ掌ラシムル為メ、

南工省ニ統制局トシテ一新局ヲ新設シ、(第一條及第二條) (一)臨時産業

商工省ノ廢止（附則）(二)從來大臣官房ニ於テ掌理シタル商工

組合中央金庫ニ關スル事務之ニ移管スル（第二條）(三)書記官トシ

事務官、技師三人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ恒常

職員ニ組替フル外新ニ局長、書記官、技師、屬、及技師三人、

増員シ、(第八條、第九條、第十三條) (中)局務ヲ輔ケシムル為メ、

統制局顧問ヲ置キ、商工大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ

※同局ヲシテ

（一）臨時産業合理化官制ニ關スル事務、大臣官房ニ於テ之ヲ掌理スルニ由リ、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師二人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

書記官一人、技師一人、屬八人、及技師五人、臨時職員ヨリ、

中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズルモノトセントスハナリ（第五條）ト為サレトスルモリナ

事一産業統制及産業合理化ノ間ニ事務ヲ卷テ擴張充實スル

之ヲ要スルニ本件ハ商工部内ニ於テ事務上ノ必要ニ因リ其ノ部

構成ニ變更加ハ

局ノ一部ヲ改廢レ令掌ノ事項ヲ整理シ且職員ノ定員ヲ若

干増加スルコトヲ主旨トスルモノニシテ之ニ要スル經費ハ既本年度

於テ其ノ他

歳出豫算ニ計上セラレタルヨリテ別ニ支障ノ虞ヲ認メザルニ

由リ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十二年四月十七日

書記官長


議長宛

机
密
院

昭和十二年四月十七日立案

書記官長 

主筆 書記官 

書記官 

臺灣總督府官制中改正ノ件外一件
審査報告

(別紙ノ通り)